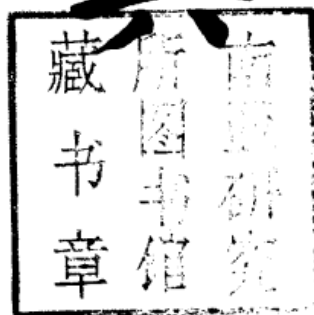


佛書解說大辭典

大東出版社藏版



ISBN4-500-00288-X

昭和10年10月15日 初版発行
昭和42年2月15日 改訂発行
昭和56年1月20日 重版発行

仏書解説大辞典 第十一巻
¥ 7000

版權
所有

編纂者 小 野 玄 妙
発行者 岩 野 真 雄
印刷者 村 雲 二 郎

発行所 株式会社 大東出版社

東京都文京区白山1丁目37番10号
電話 (816) 7 6 0 7

印刷所 株式会社 平 文 社

4384

ISBN4-500-00299-5 C3515 ¥7000E

本書編纂要解

一、本書は佛教に關する刊行物を東西兩洋に亘り、その大は一切經に收むる數千の經論より、その小は市井に埋もるゝ一論一文の小冊子に至るまで、これを舉ぐるは勿論、遠く散逸してその影を止めざるもの、或は貴重なる寫本の類に至るまで一切の典籍を收め盡し、これに現代最新の配列法（書名の首字を所謂五十音順音引假名遣に配列）により一々に内容解説を施し、且つその所在を明示したものである。

一、本書は邦語漢語佛教典籍（昭和七年十月卅一日刊行の分迄）の全部六萬五千五百餘を收む。即ち各種藏經より約八千、佛教全書、佛教大系等一般佛教叢書並に各宗關係の全書全集類約七千、各大學圖書館（京大、龍大、谷大、京專、高野山、正大、駒大、立正、東洋等）並に宮内省圖書寮、內閣文庫、帝國圖書館其他一般圖書館所藏のもの約十萬、東域傳燈目錄、諸宗章疏錄、八家請來目錄、眞宗教典志、扶桑禪林書目、其他諸目錄より約二萬の古逸註疏書目、出三藏記、歷代三寶紀等より偽經、抄經、闕本、失譯經の書目約一萬五千を涉獵し、以上全部の書目カード中の同一書を整理して六萬五千五百餘部の佛教典籍を採録した。

一、本書は以上六萬五千五百餘部の典籍を便宜上五類に分類した。即ち「第一類、藏經」「第二類、全書」「第三類、單行本の古寫本、古刊本」「第四類、現在の單行本」「第五類、古逸書類」の五類であつて、其内容解説にあつては、六萬有餘全部に亘り詳細なる解説をなすことは到底紙數上よりも許されぬ事であり、且つ其の必要を認めぬ點もあるので、大體詳細解説するものとせざるものとに分ち、前記五類中の第一、二類即ち藏經、全書類を主とし、これに他の類本にして重要と認むるものに限り出来る丈内容そのものについて詳細な

る解説を施した。

一、本書の内容解説の形體はその要點を次の十項目とした。即ち、①題名、書名、具名略名異名併記。②卷數。③存、缺。④著者又は譯者、生存年代を併記。⑤著作年代又は譯出年代。⑥内容解説。⑦末書（注釋書參考書）。⑧寫刊の年月。⑨現所藏者、圖書館書庫名。⑩發行所名。の十項目である。この十項中前記第一、二類は⑧⑨を省略し、第三類は特に⑨の圖書館の函號を詳記し、披覽者に備へ、第四類は⑩の發行所名を記して入手に便益あらしめ、第五類は⑦の注釋書參考書に力を入れて研究に有利ならしめた。この方針に依れるを以て藏經の經律論、各宗の宗典類は悉く詳細なる解説が⑥に於いて執筆され、且つその解説に責任をもつべく夫々執筆者の署名を附記した。

一、本書の解説に於ける十項目の内容について一定の方針を示せば左の通りである。

①、題名にはすべて具名、略名、異名をつけた。且つ日本語、支那音の讀方、梵語名、西藏語名、巴利語名を附記した。

日・支・梵・藏・巴とあるがそれである。而して日本語の讀方はすべて羅馬字法を採用し、一字一字の間に接尾符（—）を附し、全體としては音便慣讀法を用ひ、促音其他の用法は便宜上大藏經南條目錄補正索引（昭和五年刊）に従つた。支那音はすべて現在の北京官話の正しい發音に依り、支那音を羅馬字に移す場合學者によつて相異なる點ありと雖も、本書は最も普通に廣く行はれてゐるトーマス・ウキード氏の式に従つた。大正一切經刊行會版の昭和法寶總目錄では佛蘭西語法を用ひたが、本書は右により英語法に依つて羅馬字化した。梵藏兩語名の記入は主として西藏甘殊爾勘同目錄（大谷大學圖書館昭和六年刊）により、巴利語名の記入は漢巴四部四阿含互照錄（赤沼目錄—昭和四年刊）に従ふことにした。

②、卷數は其典籍の卷數を記したが、丁卷の異なる場合あるものは一々これを附記した。

③、存缺に就ては、存は現在行はれてゐる藏經の種類別所收卷數、全書類は其所載卷號を記した。而して各種藏經及び目錄

には左の如く略符號を使用した。茲に出てくる數字番號は本書の「佛教典籍總論」並に「昭和法寶總目錄」と連絡をとり研究に資することにした。

大正——大正新修大藏經。縮——縮刷大藏經。卍——卍字藏經。卍續——續藏經。北——北宋版。南——南宋版。元——元版。明北——明北藏。清——清藏。麗——高麗版。天——天海版。指——指要錄。法——法寶標目。至——至元法寶勘同總錄。明南——明南藏。乙——南條目錄。出三藏記——出三藏記集。三寶紀——歷代三寶紀。法經錄——衆經目錄（法經等撰）。仁壽錄——衆經目錄（彥棕撰）。靜泰錄——衆經目錄（靜泰撰）。內典錄——大唐內典錄。譯經圖紀——古今譯經圖紀。武周錄——大周刊定衆經目錄。開元錄——開元釋教錄。貞元錄——貞元新定釋教目錄。佛全——大日本佛教全書。眞全——眞宗全書。眞大——眞宗大系。日藏——日本大藏經。

①、著者又は譯者は其人の生存年代を出来る丈精査して各種の史傳、目錄、年鑑、年表、系譜等により現存せるあらゆる參考資料を涉獵して正確を期した。但し傳記は人名辭書に譲るべき性質のものであるから特にこれを省略した。年代はすべて西曆を用ひ、年號は其の人物の生死國により、其國の年號をとり、一國に生れ他國に死したものは何れかの一國の年號を用ひた。年代中——線を用ひ、「年代——年代」なるは生死年を、「年代——」は生年、「——年代」は寂年のみ明らかなるもの、又兩者不明にて生存中の或る時期明白なるものは「——年代——」として記入した。年時帝世等すべて明らかならざるも、略々其時代を推定し得らるゝものは其推定年代に「？」の符號を用ひた。僧傳並に資料中生年を明記せざるも寂年享壽の判明してゐるものはその逆算により概ねこれを記入した。生死年代に諸説あるものは其中の一を採用若しくは一説として別出したものがある。

②、著作年代は著作若しくは譯出の年號を記入した。

③、内容解説は前述の如く主として第一・二類につき冗長繁文を避けて、名義・大綱・分科・判釋・傳通の範圍に於て詳記した。原典翻譯に關する歴史的説明譯出者の傳記等はこれを省略した。略名、異名を有するものは大藏經、全書類に標題とされ

た題名の箇所にて説明した。例へばクの部「俱舍論」ではその題下に具名「阿毗達磨俱舍論」と記し、詳細なる解説はアの部「阿毗達磨俱舍論」に於てなしたるが如し。

⑦、注釋書參考書は典據を出来る丈詳細に調査して列記し、大體製作の年代順に従つて列舉した。

⑧、寫刊の年月、寫とあるは寫本、刊とあるは刊本のことにして、その出來の年代である。

⑨、現所藏者、圖書館書庫名は個人所藏のものは何某藏とし、圖書館所藏のものは其館名並に其館に於ける書目の函號を記入した。館名の略符は左の通りである。

谷大——京都大谷大學圖書館。龍大——京都龍谷大學圖書館。京大——京都帝國大學圖書館。正大——東京大正大學圖書館。駒大——東京駒澤大學圖書館。立大——東京立正大學圖書館。高大——紀州高野山大學圖書館。京專——京都（東寺）專門學校圖書館。哲——哲學堂圖書館。帝國——東京上野圖書館。內閣——內閣文庫。帝室——宮內省圖書寮。寶龜院——高野山寶龜院所藏。金剛三昧院——高野山金剛三昧院所藏。寶壽院——高野山寶壽院所藏。寶菩提院——京都寶菩提院所藏。

而して略符の下に數字等は何れも其所藏圖書館に於ける書架番號である。而して藏經、全書、叢書類は一般に現行されてゐるから所藏者（書庫）、發行所名は概ねこれを記入しないことにした。

解説の部(拾壹卷)完成に際して

佛書解説大辭典は稿を起す正に十有八年。昭和五年末編輯事務を開始し、昭和七年十二月第壹卷刊行と共に之を公告して豫約會員募集をなし、爾來三ヶ年、遂に解説の部拾壹卷を完了し、次卷、第拾貳卷「佛教經典總論」を以てその完結を見る事となつた。

その間全國圖書館を始め公私一般書庫等より蒐集せる書目論目は實に夥しき數に達し、其を整理して採録せる書論目八萬餘、總頁數五千に及び、之に對し執筆講師貳百拾名、編輯關係者貳拾餘名、此の大業成就のため終始奉仕的努力を寄せられ、一方經營上幾度か危機に直面しつゝも遂に此の完成を見るに至つた。

今、解説の部成るに當り、此の業績を見、往時を追想し、感慨轉た禁じ得ざるものあり。然も斯様に規模に於て、體系に於て他にその類を見ざる大辭典の完成を見たる、實に執筆諸家並に編纂關係諸氏の賁であり、又此の業を翼賛せられし會員諸彦の支援の然らしむる所と感謝の念に堪えざる次第である。

尙當初「歐文佛教文獻目錄 花山信勝學士編」を以て第拾壹卷に當つる豫定の所、同目錄内容は豫想外に老なるものとなり、加ふるに解説の部が一卷増冊の餘儀なきに至り、更にその目錄刊行に對し、啓明會より補助ありて著者別、内容別の上下兩冊に刊行計劃を改め、一應本辭典と引き離して別に刊行するに至つた事については、江湖の諒恕を切に御願ひしたい。

終りに臨み左に解説執筆諸家並編纂關係者の芳名を録して感謝の辭に代ふる事とする。

昭和十年十月

編纂者 小 野 玄 妙

刊行者 岩 野 眞 雄

佛書解說大辭典解說執筆者並編輯者 (五十音順)

大正大學教授	大谷大學教授	高野山大學教授	世田ヶ谷中學校長	文學士	佛敎專門學校教授	西山專門學校教授	文學士	佛敎專門學校教授	大谷大學教授	佛敎專門學校教授	大谷大學教授	前大谷大學講師	前大谷大學教授	立正大學教授	大正大學教授	日本大學教授	大正大學教授				
阿川貫達	赤沼智善	穴山孝道	安藤觀明	井川定慶	生桑完明	伊藤高順	伊藤真徹	飯田順雄	石井亮薰	石黑觀道	石塚達雄	石橋誠道	泉芳環	稻垣真我	稻津紀三	稻葉圓成	稻葉秀賢	稻津昌丸	今岡達海	今津洪音	岩崎敲玄

天合宗眞盛寺住職	東京帝國大學教授	前大谷大學教授	前大谷大學々長	高野山大學教授	大谷大學教授	立正大學教授	前龍谷大學教授	京城佛敎專門學校教授	佛敎專門學校教授	駒澤大學教授	文學士	前京都專門學校教授	文學士	文學士	前大谷大學教授	駒澤大學監事	駒澤大學教授	大正大學教授	大谷大學教授	大正大學教授	顯眞學苑東京主任	高野山大學圖書館司書
岩田教圓	宇井伯壽	上杉慧岳	上杉文秀	上田天瑞	上村幸次	馬田行啓	梅原眞隆	江田俊雄	惠谷隆戒	衛藤二郎	遠藤二平	小田慈舟	荻生隆三	大石秀典	大河內了悟	大久保堅瑞	大久保道舟	大島泰信	大須賀秀道	大野法道	大原性實	大山眞應

法政大學教授	前立正大學教授	文學士	前駒澤大學教授	大正大學教授	大谷大學教授	大正大學教授	大正大學教授	大正大學教授	大谷大學教授	大谷大學教授	智山專門學校教授	高野山大學教授	大正大學圖書館司書	文學士	大谷大學々長	大正大學教授	文學士	佛敎專門學校教授	曹洞宗師家	唐招提寺管長	京都專門學校教授	文學士	文學士
太田梯藏	岡超慧日	岡崎正謙	岡田宜法	岡田契昌	岡西大秀	加藤觀澄	加藤精神	加藤智學	柏原祐義	梶原光運	金山穆韶	鎌田良賢	禿田詒住	河野法雲	神林隆淨	紀氏隆眞	岸信宏	岸澤惟安	北川智海	吉祥眞雄	木下靖夫	久能芳隆	

大正大學教授	久保田量遠	大正大學教授	山下無倫	龍谷大學教授	雲山龍珠	文學士	桑谷觀字	佛教專門學校教授	小西存祐	世田ヶ谷中學教諭	後藤大用	文學士	鄉田惠俊	文學士	藤田祐眞	大正大學教授	近藤隆晃	京城帝國大學教授	佐藤泰舜	佛教專門學校教授	佐藤密雄	大正大學教授	佐藤良智	奈良興福寺	佐伯良謙	立正大學教授	坂田光全	文學博士	境本幸男	文學博士	櫻井黃洋	前大谷大學圖書館司書	櫻部文鏡	大正大學教授	清水谷恭順	文學士	自見直	大正大學教授	椎尾辨匡	前東洋大學教授	潮留眞澄	大正大學教授	鹽入亮忠	龍谷大學教授	澁谷亮泰	龍谷大學教授	杉田紫朗	大谷大學教授	住田智見	文學士	關口哲雄	文學士	關根慈光	文學士	關根靜應
--------	-------	--------	------	--------	------	-----	------	----------	------	----------	------	-----	------	-----	------	--------	------	----------	------	----------	------	--------	------	-------	------	--------	------	------	------	------	------	------------	------	--------	-------	-----	-----	--------	------	---------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	-----	------	-----	------	-----	------

大正大學教授	田島德晉	大正大學教授	田島隆純	佛教專門學校教授	田中順照	智山專門學校校長	高井觀海	智山專門學校教授	高神覺昇	龍谷大學教授	高木俊一	文部省維新史料編纂官補	高倉永輝	大正大學教授	高瀬承嚴	前龍谷大學教授	高千穂徹乘	京都專門學校教授	高見寬應	駒澤大學教授	立花寬恭	文學士	橘純孝	前龍谷大學教授	玉置良導	佛教專門學校教授	千葉弘導	文學士	塚田善隆	佛教專門學校教授	塚本賢隆	龍谷大學教授	月輪鐵夫	大正大學教授	辻森要脩	大正大學教授	坪井德光	東北帝國大學助教授	寺崎修一	時宗々々學林學頭	寺沼琢明	京都專門學校教授	土宜覺了	文學士	戶松憲千代	京都帝國大學圖書館司書	藤堂祐範	高野山大學教授	梅尾祥雲	東方文化研究所文學博士	常盤大定	龍谷大學教授	禿氏祐祥
--------	------	--------	------	----------	------	----------	------	----------	------	--------	------	-------------	------	--------	------	---------	-------	----------	------	--------	------	-----	-----	---------	------	----------	------	-----	------	----------	------	--------	------	--------	------	--------	------	-----------	------	----------	------	----------	------	-----	-------	-------------	------	---------	------	-------------	------	--------	------

大正大學教授	富田敬純	大谷大學教授	名畑應順	大正大學教授	內藤康道	東方文化研究所研究員文學士	中里貞隆	東京帝國大學助教授文學博士	中田源次郎	文學士	成田昌信	大正大學教授	二宮守人	東洋大學教授	西尾義雄	大谷大學教授	西本龍雄	大谷大學教授	野上俊靜	京都帝國大學教授文學博士	羽溪了諦	京都專門學校教授	長谷寶秀	醍醐傳法學院教授	服部如實	大正大學教授	橋本慈光	前高野山大學教授	蓮澤成淳	龍谷大學々々長	花田凌雲	文學士	花山行健	東京帝國大學講師	花山信勝	日本大學講師	英秀雲	前百萬遍知恩寺法主	林彦明	智山專門學校教授	林眞邦	林眞彦	林岱雲	駒澤大學教授	林屋友次郎
--------	------	--------	------	--------	------	---------------	------	---------------	-------	-----	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------------	------	----------	------	----------	------	--------	------	----------	------	---------	------	-----	------	----------	------	--------	-----	-----------	-----	----------	-----	-----	-----	--------	-------

x

⑦〔參考〕三寶紀第四、內典錄第一、譯經

種の惡態あることに因んで、人にも亦八惡

譬人經、馬有八態經、馬有八弊惡態經、馬

澄(元久一一弘安五A. D. 1205-1282)

【マ】

馬鳴生論疏

①(日)Me-myō-shō-ton-sho. (支)Ma-ming-sheng-tun-su. ①一卷
 ②義寂 ③(參考) 東域傳燈目錄卷下、奈良朝現在一切經疏目錄2552

馬鳴生論疏

①(日)Me-myō-shō-ton-sho. (支)Ma-ming-sheng-tun-su. ②四卷
 ③(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2554

馬鳴傳

①(日)Me-myō-dan. (支)Ma-ming-chuan. 馬鳴菩薩傳 ②一卷 ③存
 大正五〇・一八三 No. 2046 縮藏九、已亡
 七・一、北1035畫、南1060畫、元1047畫、
 明北1453畫、清1435畫、麗1042畫、天1034
 畫、指1007畫、法1022畫、至1485恒、明
 南1128畫、Nj. 1460 ④後秦鳩摩羅什(建元
 二一義熙九A. D. 344—413)說義熙年中藏
 譯 ⑤後秦隆安五一義熙九(A. D. 401—
 413) ⑥馬鳴菩薩傳の下を見よ。

馬鳴菩薩

①(日)Me-myō-bo-satsu. ①帖 ③存 ④德川時代寫 ⑤(寶龜院)
 馬鳴菩薩儀軌 ①(日)Me-myō-bo-satsu-gi-ki. ②一冊 ③存 ④寫本(寶善
 提院)

馬鳴菩薩成就悉地念誦

①(日)Me-myō-bo-satsu-jō-shi-jō-jō-nen-jū. ①一卷 ③存 ④正統一・三・五 ⑤唐不空(神
 龍元一大曆九A. D. 705—774)譯
 ⑥大神力秘密陀羅尼とその功德・受持法・
 畫像法・壇法・印契等を説く。
 ⑦寫本(京大藏・一六・一)

馬鳴菩薩像

①(日)Me-myō-bo-sa-su-zō. ③存、大正圖像第一二 ④建久二
 寫 ⑤(石山寺)

馬鳴菩薩大神力無比驗法念誦
軌儀

①(日)Me-myō-bo-satsu-dai-jō-ri-ki-mu-hi-ken-pō-nen-jū-ki-gi. (支)Ma-ming-p'u-sa-ta-shen-li-wu-pi-yen-fa-nien-sung-kuai-i. 馬鳴菩薩念誦儀軌 ②一卷 ③存、大正二〇・六七四 No. 1166 縮餘二、已續一・三・二 ④金剛智(咸亨二
 一開元二九A. D. 671—741)譯 ⑤唐開元一
 一二四(A. D. 723—736)

⑥釋尊が菩提樹下に居られた時に、馬鳴菩薩が世尊の許を得て説かれたのが、此の儀軌に於て示されてある所の眞言と及び玉環成就一切所願印とである。若し法に於て疑惑の念を懷き、不信の念を起さば、此の法は成就せず、此の法は唯授一人の祕法にして、人に授け可きものと注意しつゝある。此の法を成就すれば、世間第一の妙樂の財利を得ることが出来、金寶は積んで山岳を爲すに至ると言はれてゐる。

馬鳴菩薩傳

①(日)Me-myō-bo-sa-tsu-den. (支)Ma-ming-p'u-sa-chuan. 馬鳴傳 ②一卷 ③存、大正五〇・一八三 No. 2046 縮藏九、已亡七・一、北1035畫、南1060畫、元1047畫、明北1453畫、清1435畫、麗1042畫、天1034畫、指1007畫、法1022畫、至1485恒、明南1128畫、Nj. 1460 ④鳩摩羅什(建元二一義熙九A. D. 344—413)說義熙年中藏譯 ⑤後秦隆安五一義熙九(A. D. 401—413)

純の吉迦夜等譯「付法藏因緣傳」卷五、陳眞諦譯「婆薮槃豆法師傳」等にも見ゆるが其の記するところ必ずしも一致せず、殊に年代國名等異なるものがあるが、此等は皆同一人の馬鳴を示してゐる如くである。大乘論師の馬鳴と本書等に記す馬鳴とは必ず同一人なりと斷言し得ないものであらうし、又本書の記載の史的價值もいさゝか疑問であらうが、とにかく馬鳴の傳を見る史料の重要な一つであらう。

⑦(參考) 三寶紀第八、內典錄第三、譯經圖紀第三、開元錄第四、貞元錄第六 ⑧寫本(寶善提院)
 馬鳴菩薩念誦儀軌 ①(日)Me-myō-bo-satsu-nen-jū-gi-ki. (支)Ma-ming-p'u-sa-nien-sung-i-ki. 馬鳴菩薩大神力無比驗法念誦儀軌 ②一卷 ③存、大正二〇・六七四 No. 1166 縮餘二、已續一・三・二 ④金剛智(咸亨二一開元二九A. D. 671—741)譯 ⑤唐開元一一二四(A. D. 723—736) ⑥馬鳴菩薩大神力無比驗法念誦儀軌の下を見よ。

馬鳴菩薩念誦次第

①(日)Me-myō-bo-satsu-nen-jū-shi-dai. ③存 ④寫本(寶龜院)

馬鳴菩薩法

①(日)Me-myō-bo-sa-su-hō. ②一帖 ③存 ④德川時代寫 ⑤(寶善提院)

馬鳴菩薩論

①(日)Me-myō-bo-sa-su-ron. 教界文豪馬鳴菩薩論 ②一卷 ③存 ④常盤大定著 ⑤明治三八刊 ⑥(谷大、餘洋・一七七)(龍大、二九六三・四(研佛))

(正大、一〇三七・二)(帝國、九九・一一七)(京專)(立大、B一四・二六)

馬鳴論疏

①(日)Me-myō-ron-sho. (支)Ma-ming-ron-su. ②一卷 ③(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2553

馬喩經

①(日)Me-yū-kyō. (支)Ma-yu-ching. ②一卷 ③失譯 ④生經第四卷の抄出。 ⑤(參考) 出三藏記第四、仁壽錄第三、靜泰錄第三、開元錄第一六、貞元錄第二六

馬邑經

①(日)Me-yū-kyō. (支)Ma-i-ching. (日)M. N. 39 Mahā-Assapura S. ③存、中阿含經第四八(大正一・七二四No. 26, 182)

馬邑經

①(日)Me-yū-kyō. (支)Ma-i-ching. (日)M. N. 40 Cūḷa-Assapura S. ③存、中阿含經第四八(大正一・七二五No. 26, 183)

碼碯石讖文

①(日)Me-no-seki-san-mon. ②一首 ③聖德太子(敏達帝二一推古帝二九A. D. 573—621) ④(參考) 淨土眞宗教典志第一

罵意經

①(日)Me-i-kyō. (支)Ma-i-ching. ②一卷 ③失譯 ④(參考) 出三藏記第四、仁壽錄第三、靜泰錄第三

罵意經

①(日)Me-i-kyō. (支)Ma-i-ching. ②一卷 ③存、大正一七・五三〇 No. 732 縮餘八、已亡四・一〇、北818無、南824無、元818無、明北678敬、清678敬、麗816敬、天811無、指773敬、法801敬、至1048早、明南824敬、Nj. 682 ④安世高譯 ⑤後漢建和二一建寧三(A. D. 148—170)

①本經は一切善惡の法を難説し、以て道人の警めとしたものである。その内容は娼妓の五罪(亡錢財等)に始まり、或は没法の六事、或は百の佛寺を造らんよりは一人を活すべしと説き、或は人意を亂す五魔、食人等不可信の八輩、五嫉、五淨等を述べ、戒を持せずしては道を行はずからずと教ふ。更に進んで夢の因縁、畜生の角、鸚鵡屑嘴の赤き因縁、さては怖人は鹿となる等の如き後世の果報、二十八天より地獄迄の善惡果報の別等を説き、最後に人物の空、無所有、一切皆空に歸す、食すべからずと戒む。

之を要するに本經は極めて素朴的に善を勧め惡を罰せんとするもので、かゝる教訓を難然と並べであり、結構、内容、律に似てゐる。

⑦【参考】三寶紀第四、内典錄第一、譯經圖記第一、開元錄第一、貞元錄第一、第二(山本快龍)

めひらきそむる魂

①(日)Mei-hi-ra-ki-so-mu-ru-tamashi. ②一冊 ③存

④渡邊麻吉著 ⑤昭和二刊 ⑥(谷大)宗洋・七六七

名賢信向錄

①(日)Mei-ken-shin-ko-roku. (支)Ming-hsien-hsin-hsiang-lu. ②二卷 ③存 ④清雲 ⑤光緒二二刊 ⑥(龍大、研眞)

名士禪

①(日)Mei-shi-zen. ②一卷 ③存 ④小川炯村、倉光空喝共編 ⑤明治四三刊 ⑥(駒大)

名士の釋尊觀

①(日)Mei-shi-no-

め、名、明

shaku-son-kwan. ②一卷 ③存 ④清水弘道編 ⑤明治四四刊 ⑥(谷大、餘洋・二九九)(京專)

名所事

①(日)Mei-sho-no-koto. 名所事三國 ②一卷 ③存、大日本佛教全書第四一阿婆縛抄第七 ④承澄(元久二一弘安五A.D.1205-1282)

名僧集説

①(日)Mei-so-shu-setsu. ②一卷 ③存 ④【参考】禪籍目錄

名僧書

①(日)Mei-so-sho. ②一卷 ③存 ④寫本(龍大・二〇六五・二)

名僧傳

①(日)Mei-so-den. (支)Ming-seng-chuen. ②三十卷 ③梁寶唱(一天監一五A.D.516-) ④【参考】東域傳燈目錄卷下、奈良朝現在一切經疏目錄2793, 2794

名僧傳

①(日)Mei-so-den. ②一冊 ③存 ④遺明作 ⑤寫本(金剛三昧院)

名僧傳抄

①(日)Mei-so-den-sho. ②一卷 ③存、正續二・七・一 ④寶唱撰、宗性抄 ⑤梁天監一三(A.D.514)

名僧傳

①文曆年間、笠置寺の宗性が梁寶唱撰名僧傳三十卷(或は三十一卷と云ふ)の目錄、要文、説處等を抄出せしものが本書である。

名僧傳

唐高僧傳卷一に見ゆる寶唱の傳に依れば、彼寶唱は僧祐の出三藏記集に諸高僧の傳の收められてゐるを見て大いに感動し、以て名僧傳を撰するに至りしものゝ如く、而してそれは梁天監九年より始めて同十三年(A.D.514)に至つて成就してゐる。然るに此後間もなく慧皎の高僧傳が世に行はれて、後人多く此を用ひた爲め、寶唱の名僧傳は

流布普れからず、遂に散逸するに至つたものであるが、なほ支那に於ても隋唐時代までは存せし如くである。我國にも早くより傳へられ、宗性の見し名僧傳は東大寺東南院經藏に藏せられしもので、此に依つて彼が本書即名僧傳抄を編せしことは其の末文に見ゆ。

内容を云へば、先づ名僧傳の目次を擧げて次に諸高僧の傳を収めてゐる。(一)求那跋陀(名僧傳卷三所收)。(二)道安(同卷六)。(三)曇翼(同卷六)。(四)竺法義(同卷八)。(五)僧行(同卷一〇)。(六)法遇(同卷一一)。(七)道恒(同卷一二)。(八)三乘漸解實相事、無神我事の論あり。(九)覺世(同卷一五)。(一〇)曇斌。(一〇)曇濟(同卷一六)。(一〇)次に禮法事の論あり。(一一)佛駄跋陀。(一二)曇摩密多。(一三)僧伽羅多哆(同卷一九)。(一四)道韶。(一五)僧印。(一六)慧攬(同卷二〇)。(一七)納衣。(一八)慧通(同卷二二)。(一九)道汪(同卷二二)。(二〇)惠永。(二一)惠精。(二二)竺法純。(二三)竺惠慶。(二四)惠果(同卷二三)。(二五)慧海。(二六)道法。(二七)僧業(同卷二四)。(二八)法惠(同卷二五)。(二九)僧表。(三〇)智嚴。(三一)寶雲。(三二)法盛(同卷二六)。(三三)僧俱。(三四)道矯。(三五)曇副(同卷二七)。(三六)法祥(同卷二八)。

最後に名僧傳説處を附してゐる。蓋、本書は支那佛教の初期の相姿の一面を示すもので梁高僧傳を讀む時併用すべきものである。

①寫本(京大・藏・一九一・一)(野上俊靜)

名僧の戸籍調へ附佛教とは何ぞや ①(日)Mei-so-no-ko-seki-shi=

ra-be-isanke-tari-buk-kyō-to-wa-nan-zo-ya. ②二冊 ③存 ④大橋戒俊著 ⑤大正一〇刊 ⑥東京二松堂書店

名僧の人生觀

①(日)Mei-so-no-jin-sei-kwan. ②一卷 ③存 ④人生哲學研究會編 ⑤大正一四刊 ⑥東京越山堂

名藍志

①(日)Mei-ran-shi. ②一卷 ③存 ④寫本(京大・藏・二〇六・一)

名藍略記

①(日)Mei-ran-ryak-ki. 支那扶桑名藍略記 ②一卷 ③存 ④【參考】禪籍目錄

明暗雙々記

①(日)Mei-an-sō-sō-ki. ②存、澤庵廣錄之内 ③澤庵宗彭(天正元一正保二A.D.1573-1643) ④明治三九刊 ⑤(帝國・一一六・二二一)

明暗の五十年

①(日)Mei-an-no-go-jū-nen. ②一冊 ③存 ④吉澤日晃著

昭利七刊

①東京宗門時報社

明算阿闍梨受法年代

①(日)Mei-zan-a-ja-ri-jū-hō-nen-dai. ②存 ③德川時代寫 ④(寶龜院)

明算阿闍梨傳

①(日)Mei-zan-a-ja-ri-den. ②一卷 ③存 ④天明六寫 ④(寶龜院)

明算院秘訣

①(日)Mei-zan-in-hi-ketsu. ②存 ③寫本(金剛三昧院)

明算流口訣大事

①(日)Mei-zan-ryū-ketsu-dai-jī. ②一帖 ③存 ④賴尊記 ⑤徳川時代寫 ⑥(寶龜院)

明算流諸方大事目錄

①(日)Mei-zan-ryū-shō-hō-dai-jī-moku-roku. 明算流大事目錄 ②一帖 ③存

⑤奥に「師主私記之也、宥勝」とあり。引攝院相承・智莊院相承・大樂院信日相承・心南院仁然相承の大事に就きて記す。

⑥寶曆三及一一寫(金剛三昧院)徳川時代寫(寶龜院)

明算流大事

①(日) Mei-zan-ryū-dai-ji. ②一軸 ③存 ④延享五寫(寶龜院)寫本(金剛三昧院)

明算流大事口訣

①(日) Mei-zan-ryū-dai-ji-ku-keisu. ②一冊 ③存 ④淨嚴(寛永一六—元祿一五 A.D. 1639—1702)

⑤中院流院家相承十二通印信につきて古來の諸師の口決をとりて記す。

⑥延享二寫(寶龜院)寫本(金剛三昧院)

明算流大事私記

①(日) Mei-zan-ryū-dai-ji-shi-ki. ②一冊 ③存 ④有智(永正一六—永祿一三 A.D. 1519—1569)

⑤足利末期寫(寶龜院)寶曆二寫(金剛三昧院)徳川末期寫(金剛三昧院)

明算流大事目錄

①(日) Mei-zan-ryū-dai-ji-m-ku-roku. 明算流諸方大事目錄 ②一帖 ③存 ④明算流諸方大事目錄の下を見よ。

明算流傳受聖教目次

①(日) Mei-zan-ryū den-jū-shō-gyō-moku-ji. 南山中院流聖教目次 ②一冊 ③存 ④明道記

⑤文政五寫 ⑥(金剛三昧院)

明治維新以降皇室と本派本願寺との關係並摘要

①(日) Mei-ji-i-shin-i-kō-kō-shitsu-to-hon-pa-hon-gwan-ji-to-no-kwan-kei-narabini-teki-yū. ②一卷 ③存 ④勸學寮編 ⑤大正一

四曆寫 ⑥(龍大、一九四・六四)

明治維新神佛分離史料

①(日) Mei-ji-i-shin-shim-butsu-ban-ri-shi-ryo. ②三卷 ③存 ④村上專精(嘉永四—昭和四 A.D. 1851—1929) 鷲尾順敬、辻善之助共編 ⑤大正一五刊 ⑥東京東方書院

明治維新神佛分離史料續篇

①(日) Mei-ji-i-shin-shim-butsu-ban-ri-shi-ryo-zoku-hen. ②二卷 ③存 ④村上專精(嘉永四—昭和四 A.D. 1851—1929) 鷲尾順敬、辻善之助共編 ⑤昭和三刊 ⑥東京東方書院

明治維新前後史料拔書

①(日) Mei-ji-i-shin-zen-go-shi-ryo-an-ki-gaki. ②一冊 ③存 ④寫本(龍大)

明治往生傳

①(日) Mei-ji-ō-jō-den. ②三卷 ③存 ④垂水良運著 ⑤明治一五、一六刊 ⑥(正大、一〇三六・七三—一七四)

明治三十九年夏期講習會講義錄

①(日) Mei-ji-san-jū-ku-nen-ka-ki-kō-shū-kwai-kō-gi-roku. ②一卷 ③存 ④日蓮宗大學林同窓會編 ⑤明治三九刊 ⑥(立大、B〇九・二二—二二・八九)

明治十年内務省布達全書

①(日) Mei-ji-jū-nen-nai-mu-shō-fu-tatsu-zen-shō. ②一卷 ③存 ④(龍大、一〇九四・六九)

明治初期東本願寺雜記

①(日) Mei-ji-shō-ki-higa-shi-hon-gwan-ji-zak-ki. ②一卷 ③存 ④寫本(谷大、宗大、三三六)

明治諸宗綱要

①(日) Mei-ji-shō-shū-kō-yō. ②一卷 ③存 ④吉谷覺壽(天保一三—大正三 A.D. 1832—1914)著 ⑤明治二三刊 ⑥京都法藏館

明治小部集

①(日) Mei-ji-shō-bu-shū. ②一卷 ③存 ④松島善護(文化三—明治一九 A.D. 1806—1886)等著 ⑤寫本(龍大、一〇三・四八)

明治辛未殉教繪史

①(日) Mei-ji-shin-mi-jun-kyō-e-shi. 殉教繪史 ②一冊 ③存 ④田中長嶺著 ⑤明治四四刊 ⑥(龍大、一九二・八)(谷大、宗洋・二七七)

明治新事實因緣集

①(日) Mei-ji-shin-jitsu-in-en-shū. ②二卷 ③存 ④大島文進著 ⑤明治二二刊 ⑥(谷大、宗小・四七)

⑦(日) Mei-ji-shin-sei-shō-bō-zan-shū-ha-zu-zoku-hen. ②三卷 ③存 ④釋佛海編 ⑤明治四二刊 ⑥(駒大)

明治新撰正法山宗派圖續編

①(日) Mei-ji-shin-sei-shō-bō-zan-shū-ha-zu-zoku-hen. ②三卷 ③存 ④釋佛海編 ⑤明治四二刊 ⑥(駒大)

明治新令僧侶必携

①(日) Mei-ji-shin-rei-ō-ryō-hik-kei. ②一卷 ③存 ④田内憲晃編 ⑤明一三刊 ⑥(龍大、二〇九四・六七)

明治說教因緣五百題

①(日) Mei-ji-sek-kyō-in-en-go-hyaku-dai. ②二卷 ③存 ④國母社編 ⑤明治三一刊 ⑥(谷大、宗洋・四七)

明治增補賢首諸乘法數

①(日) Mei-ji-jō-ho-gen-jū-shō-jō-hos-sū. ②二卷 ③存 ④行深編 ⑤旭雅補 ⑥明治二八刊 ⑥(谷大、宗小・六)

明治天皇御詔書說教

①(日) Mei-ji-tennō-ō-go-shō-shō-sek-kyō. ②一卷 ③存 ⑤東亞佛教青年協會編 ⑥大正元刊 ⑥東京誠進堂

明治佛教文藝十二傑

①(日) Mei-ji-buk-kyō-bun-gei-jū-ni-keisū. ②一卷 ③存 ④來馬琢道著 ⑤明治三六刊 ⑥(龍大、二九六・一一)

明治妙好人傳

①(日) Mei-ji-myō-kō-nin-den. ②二卷 ③存 ④若原觀嶺著 ⑤明治一七刊 ⑥(龍大、一九六・九)

明州雪竇山資聖寺第六祖明覺大師塔銘

①(日) Mei-shū-sec-chō-san-shi-shō-ji-dai-roku-so-myo-kaku-dai-shi-tō-me. (支) Ming-chou-hsueh-tou-shan-tzu-sheng-ssu-ti-lu-tu-ming-chiao-ta-shih-ta-ming. ③存 ⑤明覺禪師語錄(大正四七・七一 No. 1996)之内 ⑥宋呂夏卿撰 ⑥明覺禪師語錄の下参照。

明匠口決抄

①(日) Mei-shō-ku-ke=tsu-shō. ②一卷 ③存 ④亮桓記 ⑤享保四寫 ⑥(南溪藏)

明匠事

①(日) Mei-shō-a-koto. 阿婆縛三國明匠略記、三國明匠略記、明匠等略傳、明匠略記 ②三卷 ③存 ④大日本佛教全書第四一阿婆縛抄第七、群書類從第四一承澄(元久二—弘安五 A.D. 1205—1282)記 ⑤建治元(A.D. 1272) ⑥阿婆縛三國明匠略記の下を見よ。 ⑦(參考) 本朝台祖撰述密部書目

明匠略傳

①(日) Mei-shō-ryaku-den. 阿婆縛三國明匠略記、三國明匠略記、明匠等略傳、明匠略記、明匠事 ②三卷

③存、大日本佛教全書第四一阿婆縛抄第七、群書類従四 ④承澄(元久二—弘安五A. D. 1205—1282)記 ⑤建治元(A. D. 1275) ⑥阿婆縛三國明匠略記の下を見よ。
明德元年四月鹿苑院准后相國寺八講記 ①(日) Mei-toku-gwan-nen-shi gwatsu-roku-on-in-jū-gō-shō-koku-jī-hachi-kō-ki. 和久良半の御法 ②一卷 ③存、群書類従第一六釋家部 ④和久良半の御法の下を見よ。

明峰假名法語 ①(日) Mei-hō-ka-na-hō-go. ②存、禪門法語集卷中 ③素哲(弘安四—觀應元A. D. 1281—1350)

④曹洞宗太祖總持寺開山常濟大師瑩山紹瑾禪師の法嗣にして、後醍醐天皇の歸依を受け、能登の永光寺二世に進住して四衆を接化し、觀應元年三月二十八日(A. D. 1350)壽七十、臘五十八を以て示寂された明峰素哲禪師の法語である。

其の説示する大要は、坐禪は本是れ大安樂の法門なりとの高祖道元禪師の苦勸坐禪儀の聖旨を掲げ、鳥飛んで鳥の如く魚行いて魚の如しと坐禪に示された不思議不染汚の淵旨を示し、太祖常濟大師の慈訓である三根坐禪の説を詳述し、諸法萬行みな坐中に收まるが故に、須臾刹那も坐禪すれば自ら心佛顯れて行住坐臥見聞覺知如々妙用に非ずと云ふことなきが故に、坐禪に精進すべしと説示されたものである。

明峰素哲禪師御傳記附永慶寺概要 ①(日) Mei-hō-so-tetsu-zen-jī-

go-den-ki-tsuketari-ei-kei-jī-gai-yō. ②

③存 ④吉住浩嚴著 ⑤昭和二刊(駒大)

明曆年度本山建立記 ①(日) Mei-

rei-nen-do-hon-zan-ken-ryū-ki. ②一卷 ③存 ④寫本(谷大・宗大・一二七六)

明朗百話 ①(日) Mei-rō-hyaku-wa-

②一卷 ③存 ④遠藤秀善編 ⑤大正一一刊 ⑥(龍大・一〇五一・四一)

明和元甲申結冬制雲水名簿

①(日) Mei-wa-gwan-kō-shū-ket-tō-sei-na-sui-me-i-ba. ②一卷 ③存 ④寫本(龍大・研史)

明和年中越後法論記 ①(日) Mei-

wa-nen-chū-echi-go-hō-ron-ki. ②二卷 ③存 ④慧琳(正徳五—寛政元A. D. 1715—1789)・隨慧(天明二A. D. 1782)共編 ⑤寫本(龍大・一七二六)

明和法論次第 ①(日) Mei-wa-hō-

ron-shū-dai. ②一卷 ③存、眞宗全書第五〇 ④仰養(享保六—寛政六A. D. 1721—1734)

⑤眞宗史上に於ける明和法論の顛末を詳細に記録したものである。本書は學林系を代表したもので、智暹が先師法霖を一益達解の邪義者と稱し、明和二年淨土眞宗本尊義を著して眞宗の本尊は大經阿難見佛の尊像なりといひ、觀經の座觀立位の佛をとるものを宗意に暗しとし先師等の説を評破せしに初まり、學林系の天倪、僧鎔等との間に於ける論争を詳述したものであつて、明和法論史を窺はんとするもの、好資料である。

る。對論記二卷參照。(木下靖夫)

迷悟抄 ①(日) Mei-go-shō. ②一卷 ③存 ④信證(應徳三—康治元A. D. 1085—1142)述 ⑤即身成佛・五大觀・密嚴淨土依正觀法の三項ありて問答釋述す。

迷悟抄 ①(日) Mei-go-shō. ②一卷 ③存、眞言宗安心全書第一、國文東方佛教叢書第一輯第一 ④覺濟(安貞元—乾元二A. D. 1237—1303)述 ⑤文永九(A. D. 1272)

⑥この書は京都醍醐三寶院座主覺濟が文永九年賀茂氏の女某の請に應じて、眞言宗の宗意安心に就てその概要を述べたもので、その文は極く平易にして、而も國文問答體である。

先づ最初には成佛に就て顯教の三劫成佛と密教の即身成佛との問答であり、次に法報應の三身に就て問答解釋し、次には念佛宗と眞言密教との對辨に就て問答し、次に眞言の宗意とする即身成佛を述ぶるに當りて六大無碍常瑜伽、四種曼荼各不離、三密加持速疾顯、重々帝網名即身、法然具足薩般若、心數心王過剎塵、各具五智無際智、圓鏡力故實覺智の即身成佛義の中の二頌八句を引用し、これを平易に布演解釋し、次に如實知自心の句を解釋し、次に十界平等自他不二の文を解釋し、最後に女人在家の人達是如何に眞言密教の教義を實修實行すべきやに就て問答解釋してゐる。従つて本書の意圖は在家の人の問法に對してこれを平易に説述したもので學究的なものではない。

⑦足利中期寫 ⑧(寶壽院) (坂田光全)

迷悟問答 ①(日) Mei-go-mon-dō. ②一卷 ③存 ④源海記 ⑤永祿三(A. D. 1560) ⑥寫本(日光海藏)

迷悟問答集 ①(日) Mei-go-mon-dō-shū. ②一卷 ③存 ④寛永二〇刊 ⑤(京大・一二五・一、日大未・四五五) (谷大・餘大・二八四七) ⑥哲・七・左・二五

茗話代睡 ①(日) Mei-wa-dai-sui. ②一卷 ③存 ④南溪・天明三—明治六A. D. 1783—1873 ⑤明治二四刊(龍大・研史) ⑥寫本(谷大・宗大・三九〇) (龍大・一五〇二・一七四)

冥樞會要 ①(日) Mei-shū-e-yō. (支) Ming-shū-hui-yao. ②三卷 ③存 ④宋祖心晦堂(天聖三—元符三A. D. 1023—1100)編 ⑦(參考) 禪籍志卷下 ⑧嘉慶元刊 ⑨(京大・藏・一七・一) ⑩駒大

冥樞會要考 ①(日) Mei-shū-e-yō-kō. ②三卷 ③存 ④寫本(駒大)

冥想法講話 ①(日) Mei-shō-hō-ka-hwa. 精神修養冥想法講話 ②一卷 ③存 ④木原通徳著 ⑤明治四〇刊 ⑥帝國・一八・七七九

冥想論附坐禪論 ①(日) Mei-shō-ron-tsuketari-zazen-ron. ②一卷 ③存 ④加藤咄堂著 ⑤明治三八刊 ⑥東京東亞堂

冥道 ①(日) Mei-dō. ②一卷 ③存、大日本佛教全書第四〇阿婆縛抄第六 ④承澄(元久二—弘安五A. D. 1205—1282)

冥道供 ①(日) Mei-dō-ku. ②一卷 ③存、大日本佛教全書第四〇阿婆縛抄第六 ④承澄(元久二—弘安五A. D. 1205—1282)

冥、銘、鳴

冥道供次第

① (日) Mei-to-ku-shi-dai. ② 一帖 ③ 存 ④ 足利時代寫 ⑤ (寶龜院)

冥道供別

① (日) Mei-to-ku-betsu. ② 一卷 ③ 存、大日本佛教全書第四〇阿婆

縛抄第六 ④ 承澄(元久二一弘安五A.D. 1205-1282)

冥道無遮齋法

① (日) Mei-to-mu-sha-sai-ho. (支) Ming-tao-wu-ze-chai-fa. ② 一卷 ③ (參考) 傳教大師將來越州

冥府記事

① (日) Mei-fu-ki-ji. ③ 存、叢書料本第二六 ④ (帝國、一〇四・二三一)

冥報記

① (日) Mei-ho-ki. (支) Ming-pao-chi. ② 三卷 ③ 存、大正五・七八七

No. 2082 正續二・二三・一 ④ 唐臨撰

⑤ 唐永徽年中(A.D. 650-655)

⑥ 卷首に見ゆる序に依れば、著者唐臨は佛教の因果説は、萬人の信奉すべき理法にして、他の教に見ざる獨特のものであると主張する。即ち、儒教にも因果論的思想を説くが、それは現世のみに重點を置いて考察したものであり、之に反して佛教の因果説には現報、生報、後報の三者あつて、過去現在未來に亘る三世の理法である。一切の法は皆この中に攝せらるべきものであるとする。而して此の如き佛教の因果應報の説を實際的事實に徴して證せんとして、古今幾多の人物に於て見聞せしところを記述せしもの即ち本書である。内容目次左の如し。

〔卷上〕 釋信行。釋慧如。釋僧徹。練行

尼。釋道懸。釋道英。釋智苑。採銀沙人。冀州擒奴。梁時一寒士。嚴恭。

〔卷中〕 崔彥武。宿太山廟客僧。蕭瑒。韋仲達。孫寶。張亮。盧文勵。陸仁荷。孫迴

璞。戴天胃。李大安。董雄。蘇長之妾。岑文本。元大寶。鄭師辯。豆盧氏。李山龍。

〔卷下〕 王將軍。崔浩。梁元帝。周武帝。仕人梁。李寬。姜略。冀州小兒。京兆郡獄卒。河南人婦。卞士瑜父。殷安仁。趙大

亡女。潘果。王五成。康抱。姓章。馬嘉運。孔恪。寶軌。王璠(附宋行實)。韋慶植亡女。張法義。柳智感。

凡そ過去長き間支那に於て特定の學匠の間に組織傳承されし佛教々義と一般支那人士の間に信奉されし宗教としての佛教とは必ずしも同一のものではない。而して一般社會に普及せし佛教思想として尤も重要なものゝ一つが因果應報、輪廻轉生の信仰である。本書はかかる社會的支那佛教の一面を物語る史料にして、法苑珠林、太平廣記等に盛に引載されてゐる。

⑦ (參考) 東域傳燈目錄卷下 ⑧ 明治二五刊(京大、一・二一・二、一・二六・一)龍大、二九六・四・六(帝國、四〇二・二九)明治三三玻璃版(谷大、別・一五二)寫本(京大、藏・二四・四・四一五)龍大、二九六・四・六〇(正大、一〇五・一〇二) (野上俊靜)

冥報記校註

① (日) Mei-ho-ki-kyo-ju. ② 三卷 ③ 存 ④ 道忠 ⑤ 寫本(京大、藏・二四・六)

冥報記輯書

① (日) Mei-ho-ki-ki-shu. ② 七卷 ③ 存、正續二・二三・一

① 佐々木憲德編

② 序文等見えないから此書編纂の始末は詳細を缺くが、佛教の因果應報に關する史實を人を中心として述べたものにして、前記の冥報記に見えざるものを集輯したものであり、殆ど全部唐道世撰法苑珠林、宋李昉等奉勅撰太平廣記より引載せしものである。

〔卷一〕 晉居士周閔。晉王範妾。宋沙門僧規。宋司馬文宣。宋王胡。宋李且。宋鄭鮮之。隋寶室寺法藏。隋釋慧雲。

〔卷二〕 隋皇甫兄弟。隋趙文若。唐柳檢。唐謝弘微妻許氏。唐趙文信。唐劉弼。唐李壽。唐賈道美。唐方山開。

〔卷三〕 隋耽伏生。唐賀悅。唐任義方。唐姜藤生。唐王千石。唐邢文宗。唐杜通達。唐陸孝政。唐咸陽婦人梁氏。唐傅奕。唐兗州人。

〔卷四〕 唐李知證。唐薛孤訓。唐陸懷素。唐楊師操。唐頓丘李氏。唐嵩州縣令。唐徐王任。唐僧義季。

〔卷五〕 唐李義琰。唐清輝寺金像。唐李思一。唐杜智楷。唐齊士望。唐劉善經。唐盧元禮。唐僧玄高。唐裴則男。唐石壁寺僧。唐陽武婦朱氏。

〔卷六〕 唐路伯達。唐章知。唐王懷智。唐夏侯均。唐王會師。唐劉摩兒。唐館陶主簿周。唐李虔觀。唐信都元方。唐封元則。

〔卷七〕 唐李信。唐孫壽。唐童子寺佛像。唐尼修行(附任五娘)。唐姚明解。唐謝氏。唐濟陰縣經。唐漁陽縣佛像。唐倪氏妻皇甫氏。唐司馬喬卿。

右の内容目次で明かなる如く六朝より唐

代までの事蹟であつて、従つて此の時代の佛教の一面を物語るものであり、尠大なる法苑珠林、太平廣記よりも簡單に見得る便のあるが本書の特色であらう。

③ 寫本(京大、藏・二四・四) (野上俊靜)

④ 寫本(京大、藏・二四・四) (野上俊靜)

⑤ 存 ⑥ 竟想(寛永一七一元祿八A.D. 1640-1655)作 ⑦ 正本(妙法院)

銘心鈔

① (日) Mei-shin-sho. 決答疑問銘心鈔 ② 二卷 ③ 存、傳燈輯要卷下、淨土宗全書第一〇 ④ 了譽聖問(曆應四一應永二七A.D. 1341-1390)述 ⑤ 決答疑問銘心鈔の下を見よ。 ⑥ (參考) 淨土正依經論書籍目錄

銘文義概

① (日) Mei-mon-gi-gai. ② 一卷 ③ 存 ④ 履善齋實錄四一文政二A.D. 1751-1819) ⑤ (參考) 眞宗全書刊行豫定書目

鳴鶴鈔

① (日) Mei-ka-cho. ② 一帖 ③ 存 ④ 徳川時代寫 ⑤ (寶龜院)

鳴鼓篇

① (日) Mei-ku-hen. ② 一卷 ③ 存 ④ 章觀 ⑤ (參考) 大日本佛教全書續刊豫定書目

鳴沙餘韻

① (日) Mei-sa-yo-in. ② 一帙 ③ 存 ④ 矢吹慶輝編

⑤ 矢吹慶輝博士が多年苦心の結果、大英博物館所藏スタイン氏蒐集燉煌出土古寫本數千點より、佛教に關する古文獻を選出して未傳古逸の佛典約一百數十點を正篇とし、稀觀古珍の墨寶若くは餘他の文獻四十點を篇外として、その現存の全卷或は重要部を玻璃版に複製されたもので、その詳細は鳴

沙餘韻解說を参照されし。

昭和五刊(玻璃版) 東京岩波書店

鳴鐘經 ①(日) Mei-shu-kyō. (支) Ming-chung-ching. ②一卷 ③疑偽經。

④(參考) 開元錄第一八、貞元錄第二八

鳴鐘雜錄 ①(日) Mei-shō-zatsu-ro-ku. ②一卷 ③存 ④大藏 ⑤享和二刊

⑥(正大、一一八・一三四)

鳴鐘教考 ①(日) Mei-shō-shō-ko. ②一卷 ③存 ④深勵(寛延二—文化一四 A. D. 1749—1817) ⑤寫本(谷大、宗大・二五

一六)

鳴鐘法 ①(日) Mei-shō-hō. ②一紙

③存 ④德川時代寫 ⑤(寶龜院)

鳴道集 ①(日) Mei-dō-shū. (支) Ming-tao-chi. ③存 ④金萬松行秀(大定元—定

宗元 A. D. 1166—1246) ⑤(參考) 禪籍目錄

鳴道集說 ①(日) Mei-dō-shū-seisu. ②一卷 ③存 ④金李之純著、赤松連城譯

⑤明治二八刊 ⑥(龍大、二八・一三・五〇)

滅惡趣菩薩念誦次第 ①(日) Mei-aku-shu-bo-satsu-nen-jū-shi-dai. ③存

④寫本(寶龜院)

滅惡趣法 ①(日) Mei-aku-shu-hō. ②一帖 ③存 ④平安朝時代寫(寶善提院)

德川時代寫(寶善提院)

滅怪經 ①(日) Mei-su-kwai-kyō. (支) Mieh-kwai-ching. ②一卷 ③缺 ④失譯

⑤(參考) 出三藏記第四、仁壽錄第三、靜

滅罪引導抄 ①(日) Mei-su-zai-in-dō-shō. ②一帖 ③存 ④德川初期刊 ⑤(金

剛三味院)

滅罪地取口訣 ①(日) Mei-su-zai-jī-shū-ku-ketsu. ②一帖 ③存 ④元和九寫

⑤(寶龜院)

滅罪所作 ①(日) Mei-su-zai-sho-sa. ②一帖 ③存 ④足利時代寫 ⑤(寶善提

院)

滅罪抄拔書 ①(日) Mei-su-zai-shō-nuki-baki. ②一帖 ③存 ④足利時代寫

⑤(寶龜院)

滅罪得福佛名經 ①(日) Mei-su-zai-toku-faku-butsu-myo-kyō. (支) Mieh-tsu-tē-fu-fō-ming-ching. ②一卷 ③缺 ④失譯 ⑤(參考) 出三藏記第

四、三寶紀第四、第七、內典錄第一、第三、

武周錄第一、開元錄第一、第一四、貞元

錄第二、第二四

滅七部莊嚴成佛經 ①(日) Mei-su-shichi-bu-shō-gōn-jō-butsu-kyō. (支) Mieh-chi-fō-chuang-yen-ch'eng-fō-ching. ②一卷 ③疑偽經。④(參考) 法經錄第一、

仁壽錄第四、內典錄第一〇、武周錄第

五、開元錄第一八、貞元錄第二八

滅十方冥經 ①(日) Mei-su-jip-pō-myō-kyō. (支) Mieh-shih-fang-ming-chi-

ng. (梵) Daśadipāṇḍhakaṇḍivavamsana

(藏傳)(藏) jiphegs-pa phyogs-bcuti mun-ba rnam-par-sel-ba shes-bya-ba theg-pa chen-pojhi mdo 十方冥經 ②一卷 ③存、大正一四・一〇五 No. 435、縮黃四、已

一二・六、北479年、南493年、元487年、

明北511維、清511維、麗475燕、天485年、

指419讀、法467義、至430悲、明南886維、

N. 515 ④密法譯譯 ⑤西晉泰始二—建

興元(A. D. 266—313)

⑥(類本) 漢になし。西藏譯は大谷甘殊爾

錄 No. 335 (東北ナリゲ錄 No. 233) にあり、

符合する。

〔内容〕佛、迦維羅衛に在り、釋種の幼童

子面善悦が煩悶憂鬱せるを見て、十方に十

佛あることを教へ、一心歸命せば心中坦然、

冥間あることなく恐懼あることなしと教へ

たまふものである。

⑦(參考) 出三藏記第二、三寶紀第六、內

典錄第二、譯經圖記第二、開元錄第二、貞

元錄第三、第四 (櫻部文鏡)

滅除五逆經 ①(日) Mei-su-jō-go-kyaku-kyō. (支) Mieh-ch'u-wu-ni-ching. ②一卷 ③存、大

正二・九一五 No. 1399、縮成一二、正一五・五、北1247年、南1251年、元1245年、

賢(一咸平四 A. D. 1001) 譯

④世尊が、阿難に對して説示されたもの

で、この陀羅尼を誦すれば、衆生の爲した

る五逆の重罪を悉く消滅して、往生淨土を

期することを得、又此の陀羅尼を聞くもの

は、千佛の加持を得るに等しいと言はれて

ある。(神林隆淨)

滅度無極經 ①(日) Mei-su-dō-mu-goku-kyō. (支) Mieh-to-wu-chi-ching. ②一卷 ③(參考) 靜泰錄第三

滅沒日算考 ①(日) Mei-su-motsu-nis-san-ko. ②一帖 ③存 ④德川時代寫

⑤(寶龜院)

面向不背如意寶珠緣起 ①(日) Men-kō-fu-hai-nyō-i-hō-jū-en-gi. ②一帖 ③存 ④明應二寫 ⑤(寶龜院)

面山和尚逸錄 ①(日) Men-zan-o-shō-lisu-roku. 永福面山和尚逸錄 ②十二

冊 ③存 ④(參考) 禪籍目錄

面山和尚歌稿 ①(日) Men-zan-o-shō-ka-kō. ②一卷 ③存 ④瑞方面山(天

和三一明和六 A. D. 1683—1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚經行記 ①(日) Men-zan-o-shō-kin-jin-ki. 經行軌 ②一冊 ③存、

禪學寶典之內 ④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—1769) ⑤明治四三刊 ⑥京

都貝葉書院

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存

④瑞方面山(天和三一明和六 A. D. 1683—

1769) ⑤(參考) 禪籍目錄

面山和尚結夏語錄 ①(日) Men-zan-o-shō-ke-kai-kyō-roku. 永福面山和尚

結夏語錄、永福結夏語錄 ②一卷 ③存